薬局用・病棟用

化学療法指示書

CAPOX+Zolbetuximab(Capecitabine+L-OHP+Zolbe)　初回

＜対象疾患＞切除不能進行・再発の胃がん
治療内容（1クール期間：21日・総クール数：PDまで）

ID：@PATIENTID　患者氏名：@PATIENTNAME　医師：@ACTIVEUSERNAME
年齢(歳)：@PATIENTAGEYE　性別：@PATIENTSEXN
身長(cm)：@REF_HEIGHT_01　体重(kg)：@REF_WHEIG　体表面積(m^2)：

クール数：　回目　投与開始日：

day 1

本体　側管

ボトル①

ボトル①　ルートキープ・フラッシュ用	
生理食塩水（50mL）	1 本

ボトル②

30分

ボトル②　点滴静注	
パロノセトロン（0.75mg/50mL）	1 袋
デカドロン（3.3mg/1mL）	3 A
ポララミン（5mg/1mL）	1 A
アロカリス（235mg/10mL）	1 V

ボトル③

ボトル③　点滴静注		
生理食塩水		0 mL
注射用水（一次溶解液）		0 mL
ビロイ注		mg
【 標準量	800 mg/m^2：	###### mg 】

ボトル④

全開

ボトル④　フラッシュ用	
生理食塩水（50mL）	1 本

ボトル⑤

120分

ボトル⑤　点滴静注		
5%ブドウ糖（250mL）		1 本
オキサリプラチン（200mg/40mL）		mg
オキサリプラチン（100mg/20mL）		mg
オキサリプラチン（50mg/10mL）		mg
【 標準量	130 mg/m^2：	###### mg 】

ボトル⑥

全開

ボトル⑥　フラッシュ用	
生理食塩水（50mL）	1 本

ビロイの点滴速度（ボトル③）

最初の30分の点滴速度	##### mL/時
30～60分の点滴速度	##### mL/時
60分以降の点滴速度	##### mL/時
ビロイ点滴時間の合計	###### 時間

悪心・嘔吐が発現した場合の対応は、別紙参照

day 1夕食後～day 15朝食後	カペシタビン錠300mg		錠 分2　朝・夕食後
day 1夕食後～day 4夕食後	オランザピンOD錠5mg	1	錠 分1　夕食後
day 2朝食後～day 3夕食後	デカドロン錠4mg	2	錠 分2　朝・昼食後

胃癌には白金製剤との併用でC法を使用する。

C法

体表面積	1回用量
1．36m2未満	1，200mg
1．36m2以上1．66m2未満	1，500mg
1．66m2以上1．96m2未満	1，800mg
1．96m2以上	2，100mg

（参考）カペシタビン錠添付文書

【医師のコメント】

【薬剤師のコメント】

・使用するケモセーフロック
　ボトル③　バッグスパイク×1
　ボトル④　バッグスパイク×1
　ボトル⑤　バイアルアダプター×必要分、コネクター×必要分、バッグスパイク×1
　ボトル⑥　バッグスパイク×1
・ビロイの希釈濃度が2.0mg/mLとなるように調製する

調製者	監査者